

新型コロナウイルス感染症 モニタリング会議

令和 2 年 6 月 2 日

モニタリング指標の状況（6月2日分）

① 新規陽性者数

16.3人

② 新規陽性者における
接触歴等不明率

50.0%

③ 週単位の陽性者
増加比

2.15

④ 重症患者数

26人

⑤ 入院患者数

312人

⑥ PCR検査の陽性率

2.1%

⑦ 受診相談窓口
における相談件数

938件

緩和の目安

1日20人未満

再要請の目安

1日50人

50%未満

50%

1 未満

2

※①の数字が10人以下となった場合は、②及び③は参考値とする。

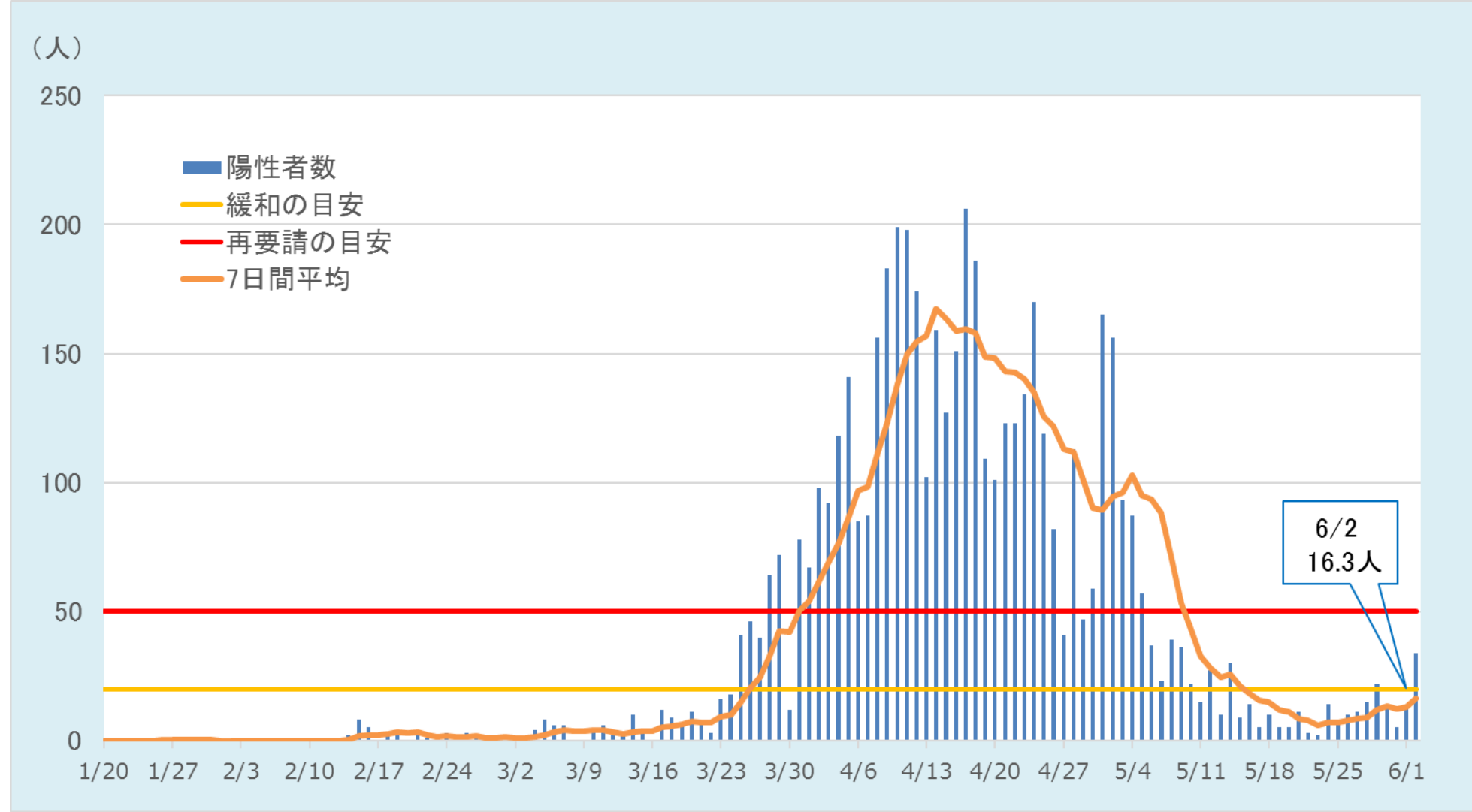
（参考）患者数に応じた病床を確保

	レベル1	レベル2	レベル3
重症患者	100	→ 300	→ 700床
入院患者	1000	→ 3000	→ 4000床



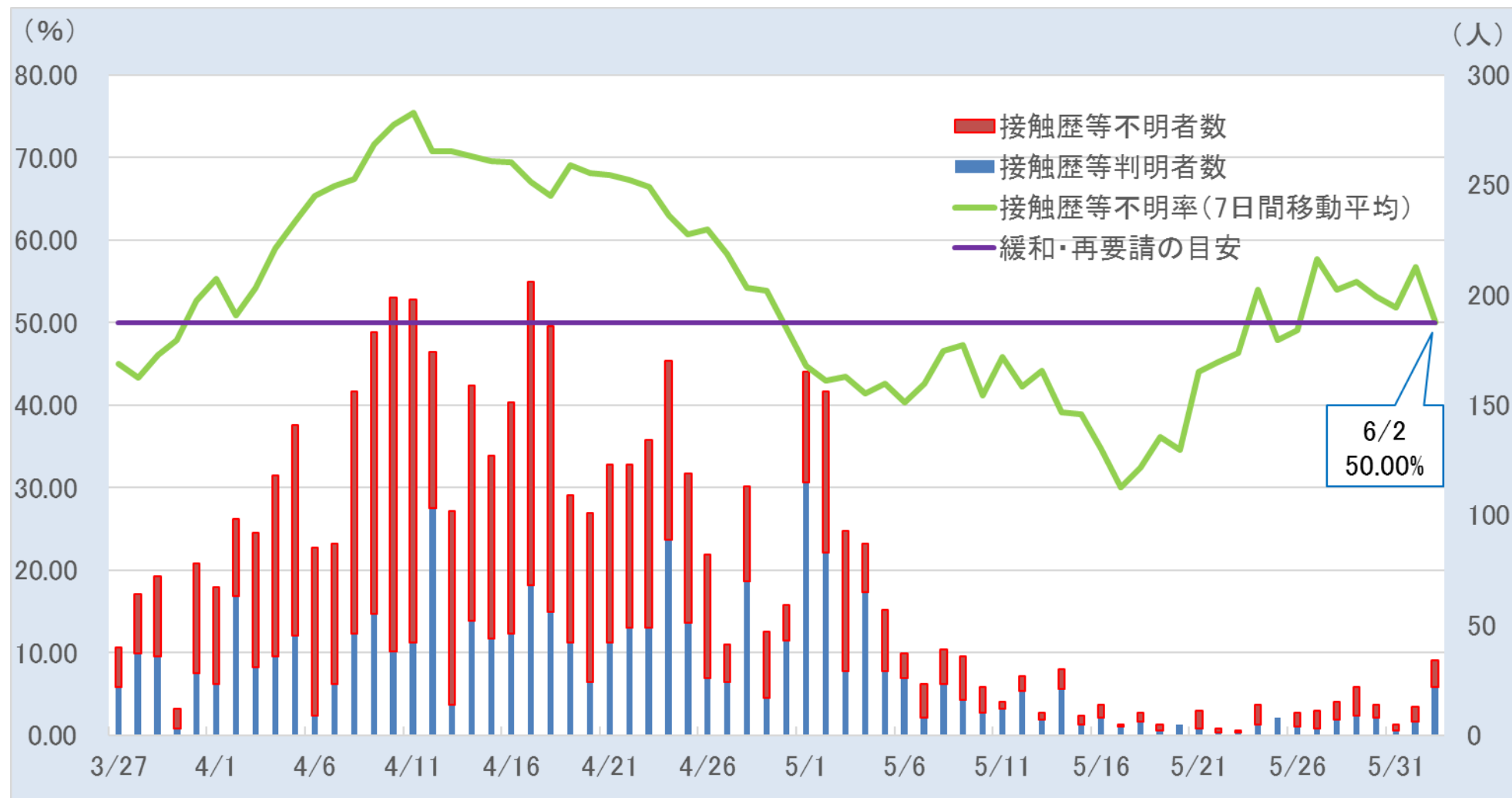
ロードマップ
ステップ2

①新規陽性者数（報告日別）



(注) 集団感染発生や曜日による件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を陽性者数として算出

②新規陽性者における接触歴等不明率（報告日別）



(注) 集団感染発生や曜日による件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を不明率として算出

(注) 濃厚接触者など、患者の発生状況の内訳の公表を開始した3月27日から作成

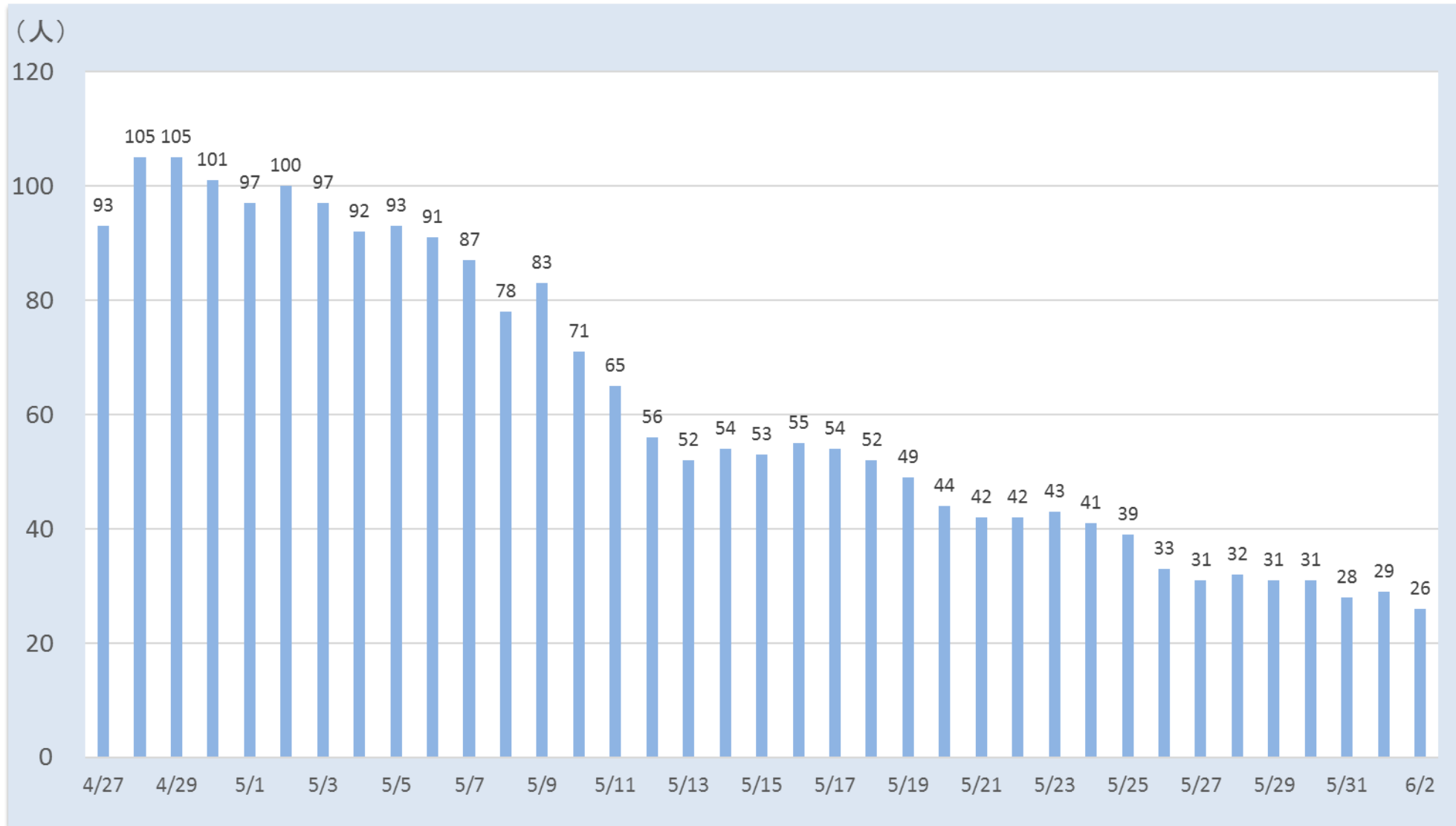
③週単位の陽性者増加比（報告日別）



(注) 直近1週間の新規感染者の報告数とその前の1週間の報告数の比率。1を上回ると増加し、1を下回ると減少する。

(注) 1週間前の新規感染者数の報告数と比較した際の増加比について、有意な数値がとれる2月22日から作成

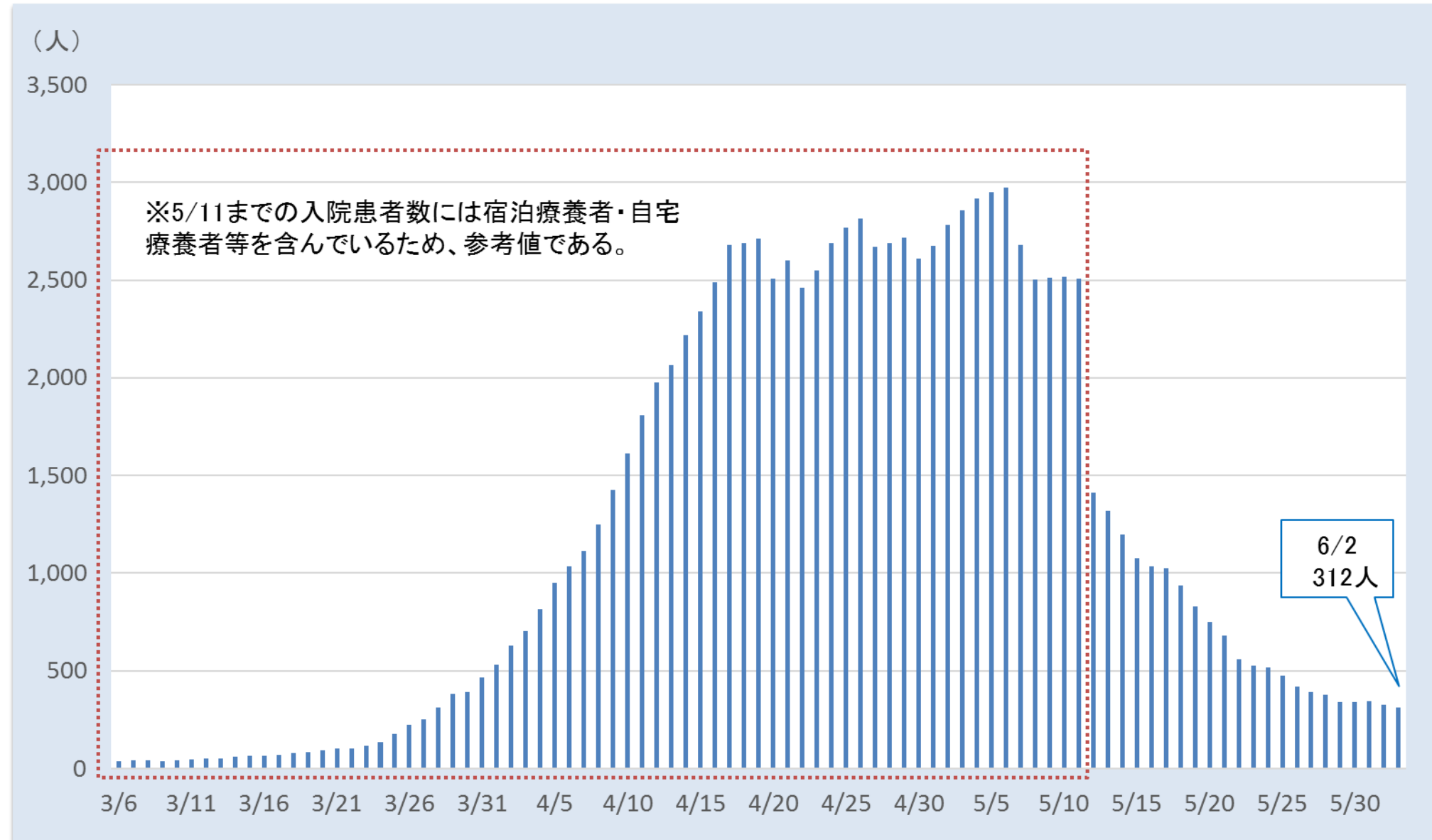
④重症患者数



(注) 入院患者数のうち、集中治療室（ICU）等での管理又は人工呼吸器管理が必要な患者数を計上

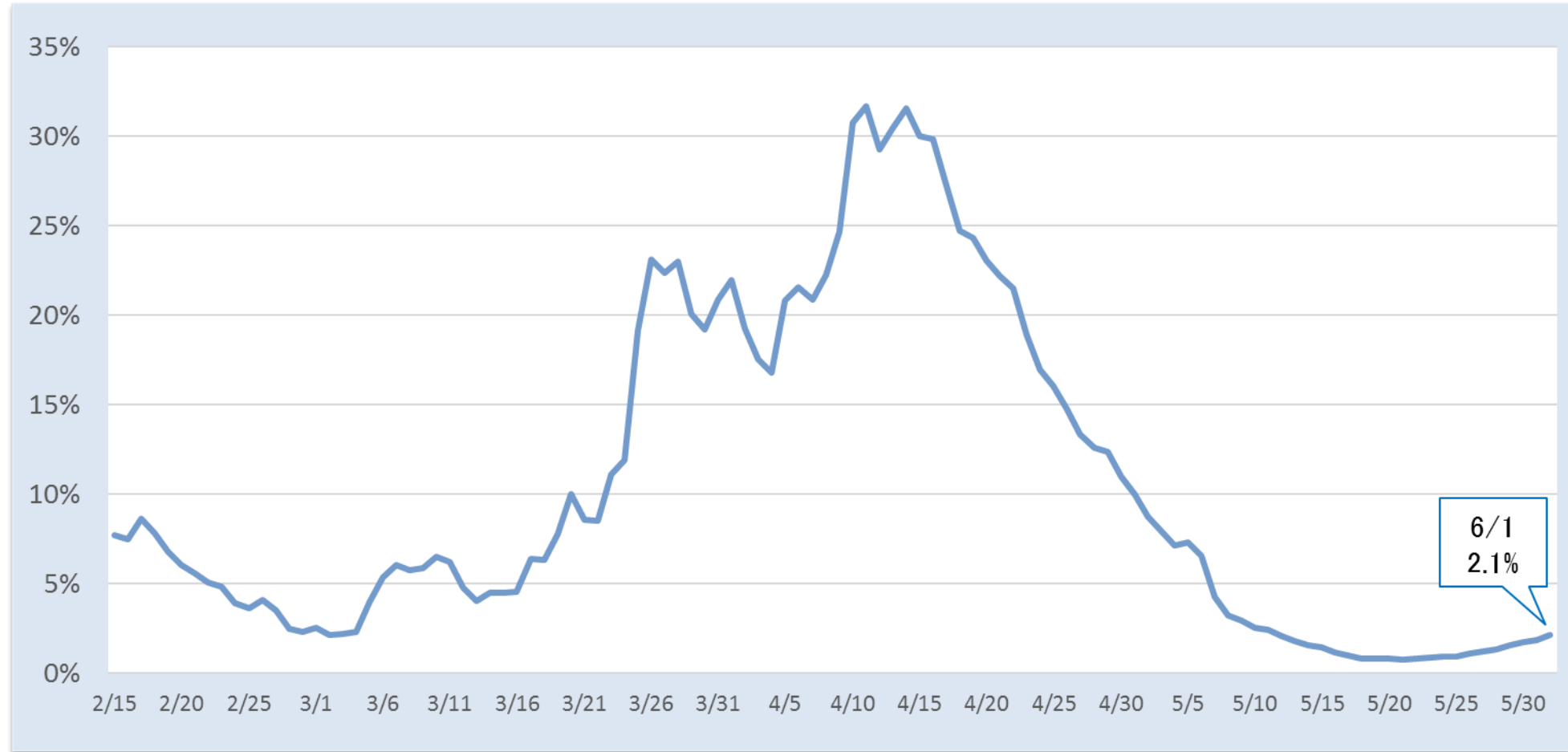
上記の考え方で重症患者数の計上を開始した4月27日から作成

⑤入院患者数



(注) 当サイトにおいて入院患者数の公表を開始した3月6日から作成

⑥ PCR検査の陽性率



(注) 集団感染発生や曜日による件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を陽性率として算出（例えば、5月7日の陽性率は、5月1日から5月7日までの実績平均を用いて算出）

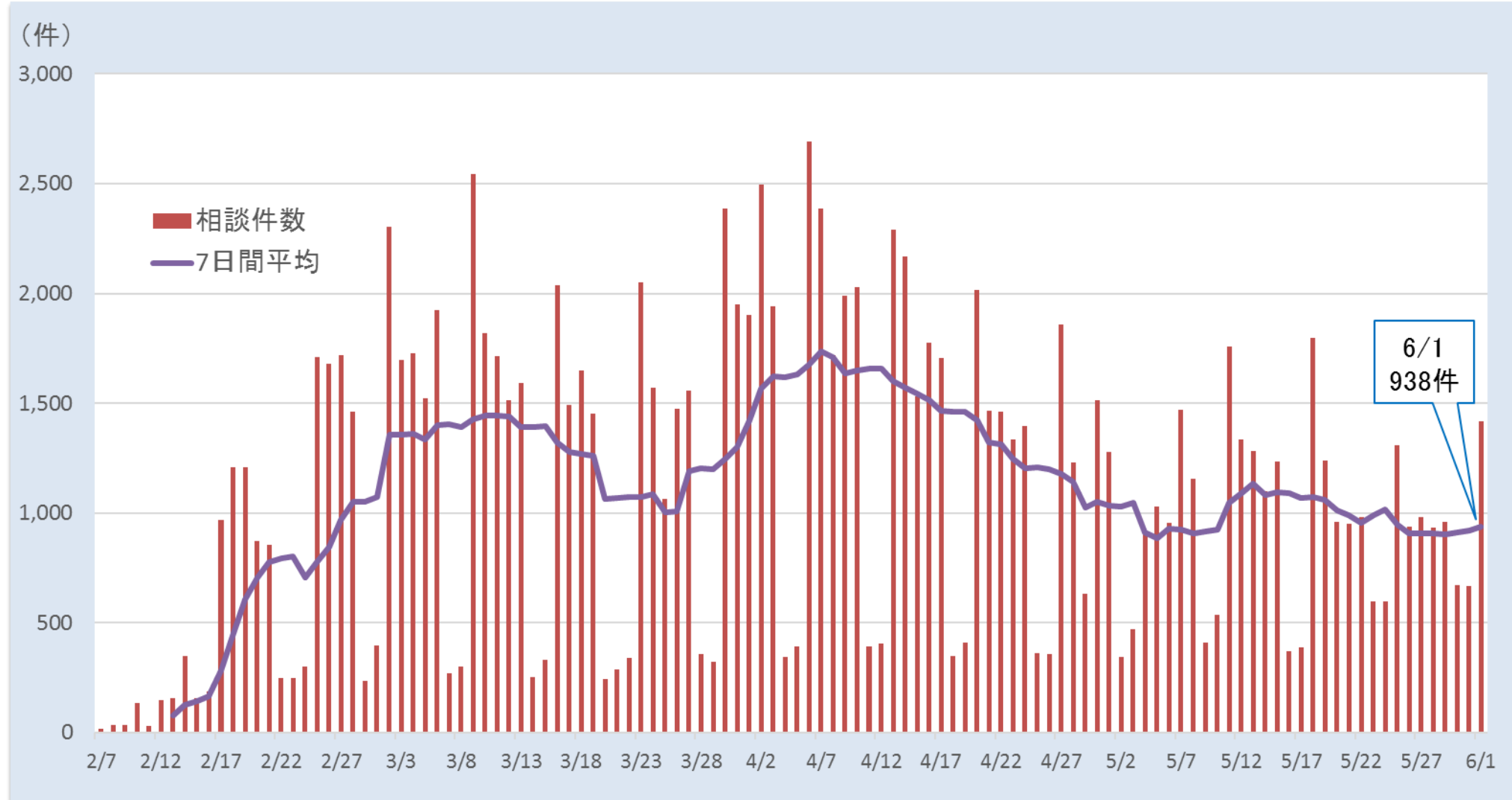
(注) 検査結果の判定日を基準とする

(注) 5月7日以降は①東京都健康安全研究センター、②PCRセンター（地域外来・検査センター）、③医療機関での保険適用検査実績により算出
4月10日～5月6日は①②のみ、4月9日以前は①のみのデータ

(注) 陽性者が1月24日、25日、30日、2月13日にそれぞれ1名、2月14日に2名発生しているが、有意な数値がとれる2月15日から作成

(注) 速報値として公開するものであり、後日確定データとして修正される場合あり

⑦受診相談窓口における相談件数



(注) 曜日などによる件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を相談件数として算出

(注) 新型コロナ受診相談窓口（帰国者・接触者電話相談センター）を開設した2月7日から作成

「東京アラート」 の発動

1項目以上の「感染（疫学的）状況」の指標の数値が緩和の目安を超え、その他の指標も勘案して警戒すべき状況と判断される場合には、「東京アラート」を発動し、都民に警戒を呼びかける。

新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ「モニタリング指標の運用方針」抜粋



- 感染状況について、3つの指標それぞれの特性を踏まえたうえで、それらを組み合わせながら、全体としての感染拡大・縮小の動向を把握することを基本とする。
- 指標が緩和基準を上回った場合には、一定の期間の動向を見ながら、専門家の意見も踏まえた上で、アラートの発動について判断するものとする。
- 同時に、医療提供体制や監視体制などの状況も含めた、総合的な判断を行うものとする。